

強い特許を、効率的に 取得するための良い明細書

2009年1月30日

ファイザー株式会社

室伏良信



Working together for a healthier world™
より健康な世界の実現のために

特許出願の目的

グローバルに、必要な同様の
広さで、市場における独占排
他性を発揮できる、有効な特
許の取得すること

171カ国

開発過程と特許

基本的に、
1 製品 1 特許
1 衣服 1 特許

目的達成のためのプロセス

- 発明の把握
- 独占排他性を確保できる発明か判断
- 先行技術の調査
- 新規性・進歩性を充足するかの判断
- デザイン・アラウンドの可能性検討
- 記載要件を充足するかの検討
- ピアー・レビュー

対策

- クレーム
 - 特許性を考慮した逆ピラミッド型クレーム
- 発明の詳細な説明
 - 特許要件を意識した内容
 - 適切な量の実施例・試験例、補完する説明
 - 変数の場合、根拠と測定方法記載
- 用語
 - 一般的な技術用語を統一して使用
- Prosecution
 - 禁反言の考慮

三極の相違

	記載要件の判断	サポート・データの出願後提出の容易性	同一発明の同日出願の取扱
E P O 先願主義	出願人に立証責任 <サポート> ・十分な理由のあるとき例外として拒絶 ・異議理由でない <実施可能> A G R E V O 審決		同日出願同士判断しない。
J P O 先願主義	出願人に立証責任		Aからaを分割すると、A-a
U S P T O 先発明主義	審査官に立証責任		Obviousness-type二重特許 Terminal Disclaimer